

平成25年第17回福岡県教育委員会会議（臨時会）会議録

1 開催日時

平成25年9月18日（水）10時00分から10時31分まで

2 場所

福岡県庁4階 教育委員会会議室

3 出席委員

住吉徳彦、二子石竜子、久保田誠二、宮本美代子、杉光誠（教育長）

4 欠席委員

清家渉

5 出席事務局職員

教育次長 城戸秀明、理事 堀秀行、教育企画部長 川添弘人、
教育振興部長 吉田法稔、総務課長 辰田一郎、
企画調整課企画監 日高公徳

6 会議

10時00分、住吉委員長が開会を宣言し、本日の議題について非公開発議の有無の確認を行った。

本日は非公開案件なく、公開と決定された。

(1) 議事

- ・第39号議案 福岡県立高等学校学則の一部を改正する規則の制定について
- ・第40号議案 福岡県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について

第39号議案及び第40号議案については、いずれも来年度の県立高等学校における生徒募集に関する内容であることから一括審議することとされた。

日高企画調整課企画監から、第39号議案については、平成26年度県立高等学校入学定員の変更に伴い所要の改正を行うものであり、来年3月の本県の中学校卒業見込者数が本年3月の中学校卒業生数と比較して約200人減少すると見込まれることから、来年度の県立高校全日制の入学定員は、今年度と比較して120人の減となる旨の説明があった。

続いて、第40号議案については、県立早良高等学校のコース改編に伴い通学区域に関して所要の改正を行う旨の説明があった。

次いで審議が行われ、第39号議案について、久保田委員から、高等学校生徒受入計画における高校進学見込者数の算定方法等について質問があった。

これに対して、日高企画調整課企画監から、昭和50年以降、10年間に期間として策定している長期計画において設定した想定進学率を基に、翌年度の高校進学見込者数を算定している。公立高校と私立高校の比率については、当該長期計画において、公立高校が6に対して、私立高校が4と定めている。現行計画の期間は平成26年度までとなっており、今後、学識経験者の意見等を聞きながら新たな計画を策定する予定である旨の説明があった。

また、二子石委員から、他の都道府県における公立高校と私立高校の入学定員の比率について質問があった。

これに対して、日高企画調整課企画監から、各都道府県における私立学校の設置状況等によって異なるものであるが、本県は他県と比較して、公立学校の比率が比較的、低くなっている旨の説明があった。

また、第40号議案について、宮本委員から、早良高等学校普通科に設置されるスポーツコミュニケーションコースは、かなり特色があると思われる。普通科内のコースとしてではなく、学科として設置することは出来ないのかとの質問があった。

これに対して、日高企画調整課企画監から、学科として設置するためには単位数の要件等もあることから、コースの改編としている旨の説明があった。

住吉委員長から、他の意見の有無を問い、第39号議案及び第40号議案は原案どおり可決された。

住吉委員長が閉会を宣言し、10時31分閉会した。